

展示林の概要

長野営林署

1	展示林の名称	N03 黒姫山カラマツ施肥試験展示林(N01)					
2	設定目的及び選定理由	施肥による省力経営や、木材の増収を図る一環として実行し、既に30数年を経過したことから、平成2年にとりまとめて、試験地から展示林へ変更した。					
3	設定箇所	国有林名	黒姫山	林小班	17へ	植栽年月	S36
4	設定区域面積	0.96ha		設定年月	H5年4月		
5 設定箇所の現況	機能類別	木材生産林		施業制限内容			
	保安林種	水源涵養					
	自然公園						
	地況	標高	傾斜	方位	地位	土壌型	
		m				BLD-D	
林況	N		L		計		
	本数	材積	本数	材積	本数	材積	
樹種・胸高直径・樹高別・本数・材積内訳							H2調査
樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	備考	
カラマツA-3	無施肥区	16.0 ^m	13.9 ^m	1,327	192		
1	(山)1号区	15.7	13.9	1,728	255	150g(1本あたり)	
2	"追肥	15.8	13.9	1,481	217	"翌年150g	
B-3	無施肥区	15.1	13.5	1,450	201		
1	(山)1号区	15.5	15.9	1,821	307	A区に同じ	
2	"追肥	17.6	15.7	1,543	332		
C-3	無施肥区	15.3	15.8	1,512	239	A区に同じ	
1	(山)1号区	15.7	14.4	1,790	272		
2	"追肥	15.8	15.1	1,790	293		

樹種	種類	胸高直径	樹高	本数	材積	備考
6 過去の施業経過						
S 36	h a 当たり	3, 500 本		施肥実行		
37				追肥 (一部)		
40	補植	3, 250 本		0. 99 HA	60 人	
45. 5	施肥			"	4	
47. 4	除伐			"	16	
57. 4	つる切			"	1. 5	
7 その他						
昭和30年代に行われた林地肥培について、その体系化を図る目的で設定した試験地で、幼齢期における生長調査では施肥による有意性は認められたが、林齢31年時では、特にその有意性は認められなかった。						

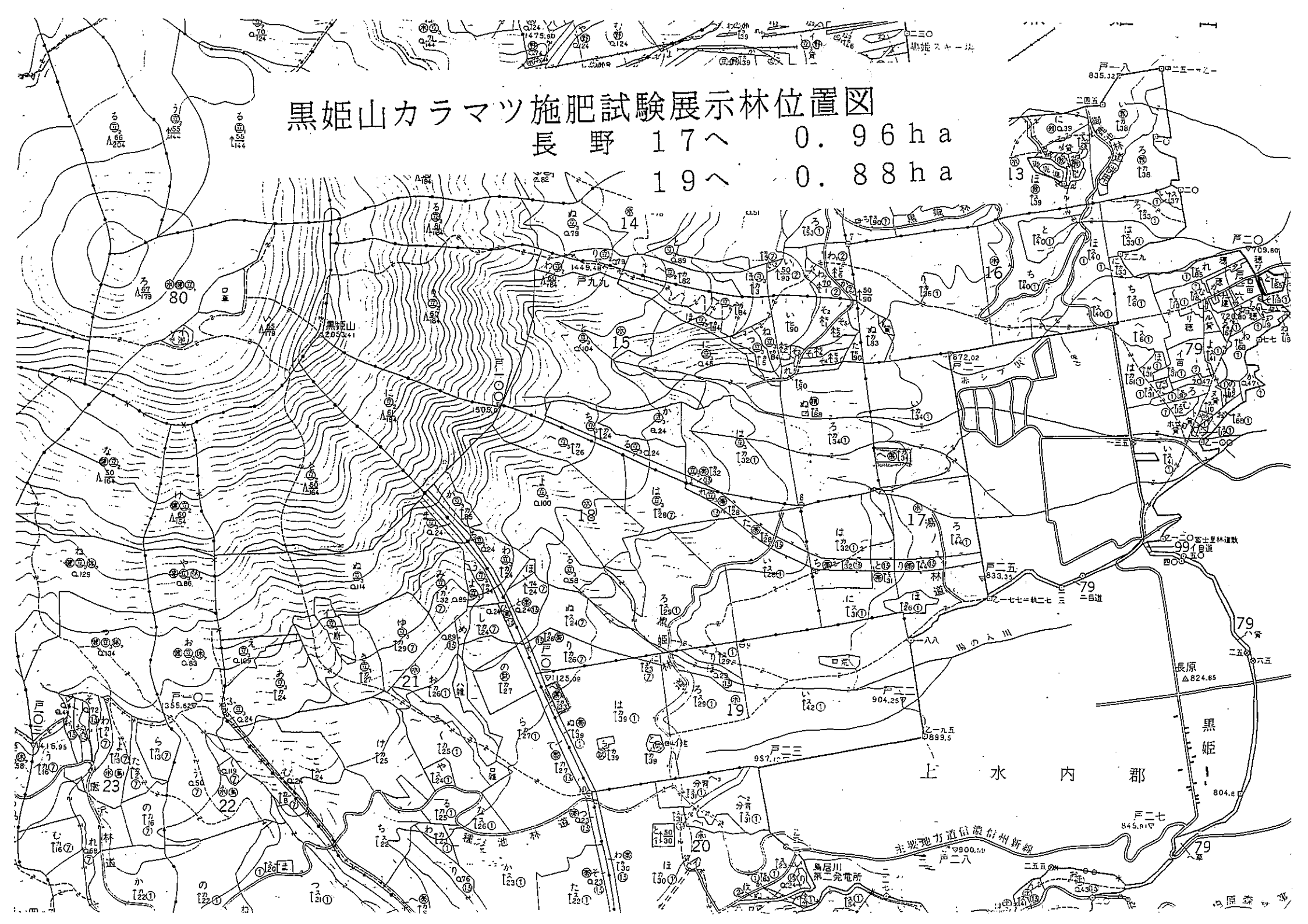
記入要領

- 1 展示林の名称は国有林名または地名等の次に樹種名を記入する。
- 2 設定目的及び選定理由は市場価格の高い林木の間伐、経費節減に配慮した間伐、優良な人工林、他に模範となる天然更新地等と具体的に記入する。
- 3 設定箇所の現況は林況以外森林調査簿等より記入する。(林況は最新調査データを記入する)
- 4 樹種・胸高直径・樹高等内訳は現地調査野帳を集計して記入する。
- 5 過去の施業経過は植付年度、保育年度、(下刈・除伐・間伐)間伐量を林班沿革簿等より可能な範囲で記入する。
- 6 本表のとりまとめに当たって樹種、種類ごとの単位以下の端数処理は必要ない。
- 7 その他欄には設定箇所付近の林分の現況、生育状況等を記入するとともに、設定箇所の下層植生、地理的条件等を記入する。

黒姫山カラマツ施肥試験展示林位置図

長野 17〜 0.96 ha

19〜 0.88 ha



黒姫山カラマツ施肥試験展示林

長野 17へ

0.96 ha

